

令和5年 第2回芦屋町議会定例会 一般質問通告書

氏名	件名	要旨	備考
<p>松岡 泉 [一問一答方式]</p>	<p>1. 災害対策について</p>	<p>先日、石川県や千葉県で地震が発生した。また、東海地方では豪雨災害の危険情報が発令され、浸水被害等が懸念されたところでもある。 今年も梅雨期、台風発生時期がやってくるが、事前の対策は欠かすことができない。そこで次の点について伺う。</p> <p>(1) 災害対策の充実について</p> <p>(2) 防災・減災に関わる研修等への参加状況について</p> <p>(3) 被災者台帳「被災者支援システム」の導入・運用について</p>	
	<p>2. 障がい者支援について</p>	<p>町は障害者計画や障害福祉計画に基づき、各支援事業が計画的に推進されているところではあるが、共生社会実現に向け支援の拡充が求められる。そこで次の点について伺う。</p> <p>(1) 生活環境に関わる整備状況について</p> <p>(2) 生活支援の充実について</p>	
	<p>3. 子ども・子育て支援プランについて</p>	<p>「子どもをど真ん中に据えた社会」の実現に向けた取り組みが国を挙げて始まった。町は子ども・子育て支援事業計画を策定し、施策を行ってきたところではあるが国の法律が制定されたところでもあり、更なる充実が求められる。そこで次の点について伺う。</p> <p>(1) 子ども基本法について</p> <p>(2) 町の課題と対応策について</p> <p>(3) 子どもの基本権利条例の制定について</p> <p>(4) 応援施策の方向性について</p>	

令和5年 第2回芦屋町議会定例会 一般質問通告書

氏名	件名	要旨	備考
萩原 洋子 [一問一答方式]	1. 中央グラウンドの整備について	<p>今年の4月中旬頃から、芦屋町総合運動公園中央グラウンドのバックネット前に水たまりができるようになった。雨の降り方によっては長い時で4～5日も水がひかない状態となっている。</p> <p>中央グラウンドは、本町の体育・スポーツ振興を図るとともに町民の健康増進の向上に寄与するために設置されている。しかしながら、平成3年4月の完成以来、大規模な改修は行われておらず、水はけの悪さやグラウンド内のあちこちに凸凹が見受けられる状態となっているため、安心安全に利用できる状態とは言い難い。そこで以下の点について伺う。</p> <p>(1) 中央グラウンドの利用及び管理状況は。</p> <p>(2) 中央グラウンドのバックネット前に水たまりができる原因と改善策は。</p> <p>(3) 今後は中央グラウンド全体の改修も必要と考えるが町の見解は。</p>	
	2. ごみステーションのカラス対策について	<p>町や各自治区でも様々な取り組みをされていると思うが、ゴミ出しの日になると、ごみステーションがカラスに荒らされているのを見かける。町の環境美化の観点からもカラス対策は必要である。そこで以下の点について伺う。</p> <p>(1) ごみステーションのカラス対策は。</p> <p>(2) 新たなカラス対策が必要ではないのか。</p>	
	3. 野良猫対策について	<p>町は令和4年2月から、野良猫対策のTNR活動を行っているが、以下の点について伺う。</p> <p>(1) その後の野良猫対策の取り組み状況は。</p> <p>(2) 今後の野良猫対策の方向性は。</p>	
	4. 通学に関するアンケート結果と今後の対策について	<p>今年の2月、教育委員会が町内の各小学校と中学校で通学に関するアンケートを行った。学校や学年によって違いはあるが、特に中学生では猫背などの姿勢の悪さや肩こり、腰痛といった症状があると回答した割合は60～70%となっている。よって、早急に症状改善に向けた取り組みが必要ではないかと考える。そこで以下の点について伺う。</p> <p>(1) 症状を訴えている児童生徒に対する対策は。</p> <p>(2) 中学生に対する対策として、2, 3年生の通学カバンの買い替え意向調査と一部費用負担の支援を行う考えはないのか。</p>	

令和5年 第2回芦屋町議会定例会 一般質問通告書

氏名	件名	要旨	備考
<p>本田 浩 [一問一答方式]</p>	<p>1. 芦屋町における チャットGPTについて</p>	<p>チャットGPTの自治体における業務の活用について、芦屋町はどのような形で対応を考えているのか。今後の課題や導入における効果、問題点、将来展望等について尋ねる。</p> <p>(1) チャットGPTとは</p> <p>① 自治体に関わる目的とは何かについて</p> <p>② 導入予定計画の有無・進捗状況について</p> <p>③ メリット・デメリットについて</p> <p>④ 職員の関わり方について</p> <p>⑤ 予測される業務の効率化について</p> <p>⑥ 今後の課題について</p>	
	<p>2. 防災士活動の今後と郵便局の活用について</p>	<p>芦屋町が防災士育成に取り組み、3年目を迎えるウイズコロナの今後の活動について尋ねる。</p> <p>(1) 防災士の資格取得者の活用は</p> <p>① 今年度の資格取得について</p> <p>② 避難訓練等での活動の役割について</p> <p>③ 防災士資格取得者への活動支援について</p> <p>(2) 芦屋町内の郵便局との業務提携は</p> <p>① 郵便局の利活用について</p> <p>② 災害発生時等の共助について</p>	
	<p>3. 令和5年度施政方針について</p>	<p>協働と共創のまちづくりの決意の中で、「芦屋まちづくり戦略」を掲げられているが、その中から2項目について尋ねる。</p> <p>(1) 住民とともに進めるまちづくりについて</p> <p>① 人づくりについて</p> <p>② 住民参画について</p> <p>③ 自治区加入率向上について</p> <p>(2) 安全で安心して暮らせるまちについて</p> <p>① 共助推進の課題解決について</p> <p>② 防犯環境の整備について</p> <p>③ 交通安全対策について</p>	

令和5年 第2回芦屋町議会定例会 一般質問通告書

氏名	件名	要旨	備考
川上 誠一 [一問一答方式]	1. 安保3文書による芦屋基地強靱化について	<p>3月2日の参議院予算委員会で日本共産党の小池書記局長は、防衛相が全国の自衛隊基地を核兵器などによる攻撃にも耐えられるよう「強靱化」する計画を立てていることを明らかにした。</p> <p>安保3文書は、我が国の安全保障の目標として第一に「我が国及びその周辺における有事、一方的な現状変更の試み等の発生を抑止する」としている。その上で「我が国への侵攻を抑止するカギとなるのは、スタンド・オフ防衛能力等を活用した反撃能力である」と強調している。</p> <p>「スタンド・オフ・ミサイル」＝長距離ミサイルによる敵基地攻撃能力が「抑止」の中核となる認識である。</p> <p>同時に安保3文書は、「万が一、抑止が破れ、我が国への侵攻が生じた場合」に言及しており、その際は「これを阻止、排除する」とし、「有事においても容易に作戦能力を喪失しないよう」に、主要司令部の地下化や構造強化など「各施設の強靱化を図る」としている。</p> <p>そこで次の点を伺う。</p> <p>(1) CBRNeやHEMPはどういったことを表すのか。</p> <p>(2) 芦屋基地から基地強靱化に関する計画の連絡はあっているのか。</p> <p>(3) 全国に大量のスタンド・オフ・ミサイルが配備されるが、芦屋基地に配備されることはないのか。</p> <p>(4) 町民の命と暮らしを守る最大の使命を果たすために、基地強靱化に反対を表明すべきでないか。</p>	
	2. 学校給食費の無償化について	<p>町長は統一地方選挙で示したマニフェストについて施政方針の中で、「これらにつきましては、選挙を通じて住民の皆さんと交わした約束でございますので、行政内部で十分協議を行ったうえで、町の実施計画に位置づけて推進してまいりたいと考えております。」としている。</p> <p>施政方針の「子どもがのびのびと育つまち」では学校給食について、「保護者の経済的負担を軽減するため、令和8年度まで、町内小中学校の給食費を半額にする」と半額補助の継続を表明している。</p> <p>しかし、「芦屋まちづくり10戦略」の中の「教育力アップ戦略」では、小中学校の給食費の半額補助拡大を検討するとしている。</p> <p>芦屋町が県内でも一早く給食費の半額補助を行っていることは評価するが、さらなる子育て支援策として、全額無償化に踏み切るべきではないか伺う。</p>	

令和5年 第2回芦屋町議会定例会 一般質問通告書

氏名	件名	要旨	備考
長島 毅 [一問一答方式]	1. 芦屋港レジャー 港化の現状と今後の 展望について	(1) 令和8年度のレジャー港の開港に合わせた機運醸成について ① 芦屋港開港に合わせた機運醸成キャンペーンとして、アロハビズの導入を (2) 芦屋町の海を活かした官民連携について ① ネーミングライツ・パートナープロジェクトの提案 (*公共施設の名前を付与する命名権と、付帯する諸権利のこと)	